



ぶどうのささやき

39 号

2025 年
7 月 15 日発行

地域経済の活性化を目指し、社会貢献をしています。



新たな価値を生み出す場 横須賀リサーチパーク (YRP)



はじめに NPO 法人産業クラスター研究会の皆様の活動には敬意を表するとともに、横須賀リサーチパーク（以下 YRP）へのご理解に感謝申し上げます。

当社は、YRP の中核としてエリアの活性化を主な目的としている第 3 セクターです。この度は YRP の魅力と今後の展望についてご紹介させていただきます。

YRP は日本が移動通信分野で世界をリードする拠点として、さらには横須賀の地域経済に貢献するべく 1997 年に開業し、以後は情報通信を中心とした企業、研究機関などが集積する国内有数のサイエンスパークとして発展してきました。

近年では産業・医療ガス、工業用プラスチック、半導体、フィルタ、サイバーセキュリティなど多様な研究機関の進出も進み、その集積メリットを活かした共同研究や連携・協業も進んでいます。

このような中、当社は横須賀市、一般社団法人 YRP 研究開発推進協会、京浜急行電鉄株式会社をはじめとした進出機関等と共に策定した「YRP ビジョン 2025」の将来像実現に向け、以下の取り組みを進めています。

- ①リアル/バーチャルに人が集うコミュニケーションハブの形成
- ②ICT 技術等を活用したアプリケーションサービスの実現による社会課題の解決
- ③自治体、YRP 進出企業、協会会員とのマッチングによる地域産業の育成

これまで、YRP は地域社会との結びつきが必ずしも強くなく、研究成果が地元の課題解決に十分貢献できていなかった反省がありました。そこで、今後は研究成果や活動を通じて新しいビジネスを創出し、かつ地元地域に還元させる方針を掲げました。

その一環として、まずは YRP の認知度の向上を目的

株式会社
横須賀リサーチパーク
代表取締役専務 上之段 功



に年 1 回「YRP オープンイノベーションデー」を開催しております。昨年は進出機関等の成果展示、生成 AI、サイバーセキュリティ等の最新技術トレンドの講演、子供向け e スポーツ体験やステージパフォーマンスなどにより、YRP で今なにが起きているのか、ここで生まれた技術が世の中をどう変えていくのかを楽しみながら知ってもらうことができました。今年も 10 月に開催を予定しています。

他にも当社は、交流を目的としたセミナーや将来を担う理系系人材を育成するためのプログラミングワークショップの開催、小・中学校などの視察受け入れ、無線歴史展示室の運営、神奈川県立横須賀高等学校への講師派遣など多角的な活動を行っています。

今後の展望としては、2027 年春に（仮称）中央医療大学の開校が予定されており、最終的には 500 名を超える学生が YRP に集うことが見込まれ、一層の賑わいが期待されます。また、国のサイバーセキュリティ関連法案成立の動きを捉え、関連機関の集積を進め、地域を活性化していきたいとも考えています。これからの YRP は、そうして集積したいろいろな組織が融合し、人材育成を行い、新技術を開発する、その連携で新しいビジネスが生まれ、地域が盛り上がる、そんな魅力ある「まち」にしたいと考えています。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

クラスターとは・・・

クラスターとは、ぶどうの房や羊の群れを意味します。米国の経済学者マイケル・ポーターが著書『経済戦略』の中で異業種間のネットワークを構成している状況を意味するものとして『産業クラスター』という言葉を使っています。私たちは地域経済活性化への貢献を目指して、2003 年 8 月に産業クラスター研究会を設立しました。



理事長挨拶

2025 年度活動方針

平素より当会の活動に対し皆様より多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

先般行われました通常総会において、24 年度の決算および 25 年度の事業計画ならびに予算案が審議され皆様のご協力により滞りなく終了することができましたことをご報告申し上げます。

24 年度は長く続いたコロナパンデミックの影響による支援案件の減少からようやく脱し、決算も堅調であったことから懸案であった事務所のパソコンとプレゼン用のプロジェクターも更新することができました。

25 年度の事業計画は、24 年度に続き以下のような内容となりました。

1. 経営、業務改善グループは昨年に引き続き製造工程の改善や作業員の意識改革等を必要とする企業に対する包括的な支援を続けます。
2. 業務受託グループは横浜市からの委託を受けて、市内公共施設の運営審査業務を積極的に開拓、推進いたします。
3. 通訳・翻訳グループは引き続き横須賀商工会議所と連携して市内中小企業の米海軍の入札支援を行うと共に外国人技能実習生の日本の資格取得に対する支援や市民サポートセンターと連携して就学困難な中高生への英語、数学の補習授業も計画いたします。
4. 公共支援活動としては、同センターにおける月一回の「いまさら相談室」や「スマホ教室」、観音崎自然公園に

理事長 富野 養二郎



おける「ものづくり教室」も継続して行います。又横須賀市と協働でLINE を利用した老人会の広報、回覧システムの構築も模索いたします。

5. その他 HP・IT・特許グループ、情報セキュリティグループは引き続き支援案件の積極的な開拓を行い、DX・デジタル研究グループは中小企業にとって必要とされる支援の研究、開拓を行います。

世界の政治、経済を巡る環境はこのところ急速に悪化をしています。トランプ大統領が高関税を世界各国に一方的に課し、強引に生産を米国内に移そうとする政策が長い時間をかけて構築されてきた国際的なサプライチェーンを崩壊の危機に立たせ、同胞であるはずの自由主義諸国に大きな不安と混乱を引き起こしています。又、ウクライナやイスラエル情勢の緊迫化やアメリカを巻き込んだ中東の戦争状態の勃発等心が休まりません。

一方、国内に目を向けると横須賀地区では日産追浜工場の閉鎖が話題になり、万一このようなことが現実となった場合は地元の製造業に与える影響は非常に深刻なものになる恐れがありますので、われわれも引き続き注視をして行きたいと思います。

【歳時記】 生姜の効能

「目に青葉 やまほととぎす 初鰯」の季節になると、若かりし頃、学会出張で高知に行き懇親会で初鰯が出て、薬味として香り高い生姜で賞味し、大変美味であったことを思い出す。春から夏へと海を北上する初鰯は、脂の少ないすっきりした味わいで、さっぱりとした薬味と相性が良く、そんな初鰯を引き立てるのが名わき役の生姜で素材の風味を引き立てる。

生姜は料理の香りや味に深みを加える万能スパイスとして、和洋中を問わず広く使われている。その辛みと香りには、ただの風味付けにとどまらず、身体に嬉しい効果が隠れている。生姜に含まれる成分「ジンゲロール」は生の状態で強い辛みと殺菌作用を持つ。例えば、にぎり寿司に添えられるガリ（酢漬けの生姜）は、生魚による食中毒のリスクを軽減するという役割を果たしている。また豚の生姜焼きのような料理では生姜が肉の臭みを消すと同時に消化を助ける働きもする。

生姜は熱帯アジア原産で、インド・東南アジアをはじめ世界各国で栽培されており、数千年にわたり香辛料としてのみならず、その多様な薬効からインドではアユルベダ（伝統医学）として、或いは漢方薬の重要な生薬として利用されてきた。

生姜の辛み成分はジンゲロールとショウガオールであるが、その健康機能の2例を紹介したい。

1. 抗酸化物質 人は呼吸で酸素を取り込むとその一部は活性酸素になる。特に過激な運動、ストレス等が増えるといわれている。抗酸化物質は活性酸素を中和し体を守ってくれる。
2. がん予防 生姜はデザイナーフーズ・ピラミッドの表でがん予防に重要な食材に位置づけられている。発がん2段階説で初発段階・推進段階とあるが、生姜は推進段階を抑制するといわれている。

生姜については多くの効能が認められており、香辛料として健康にもよい食材なので、毎年少量ではあるが家庭菜園で栽培している。日本の暑さをものともせず育っている。秋の収穫が楽しみである。（祐）



新生姜

事業活動紹介

横浜市指定管理者第三者評価

業務受託 G 金子 賢一



当産業クラスター研究会は、平成 31 年に横浜市の第三者評価機関に認定され、以来同市指定管理者の第三者評価を実施し、ご好評をいただいています。

【指定管理者第三者評価とは】

ほとんどの地方自治体が公会堂やスポーツセンターなどの公共施設の運営を民間に委託することで、コスト削減と利用者サービスの向上及び施設設置目的の達成を図っています。

また、運営が適切に行われているかの評価・点検を、市自身だけでなく、多くの地方自治体では外部機関による第三者評価を併せて行っています。第三者の意見を積極的に活用し、指定管理者自ら改善の PDCA を回すことで、サービスを向上させるのが目的ですが、利用者目線での評価も期待されています。

【横浜市・第三者評価機関の認定】

横浜市では地区センター、公会堂、スポーツセンター、こどもログハウスなど約 350 の区民利用施設が、5 年間の委託期間中に 1 回、第三者評価を受けます。現在 10 数団体が横浜市から第三者評価機関として登録されていますが、しっかりした組織でかつ、横浜市の研修・試験に合格

した評価員が 2 名以上居ることが条件です。評価員になるためには、組織運営やコンサルタントなどの経験の資格要件があり、結構狭き門です。

【産業クラスター研究会の評価の特徴】

当会は企業・団体の OB が主体の NPO であり、評価員 / 評価員補も現役時代の様々な経験知識を生かした第三者評価を行っています。評価は大別すると、Ⅰ．地域連携、Ⅱ．利用者サービス、Ⅲ．施設設備維持管理、Ⅳ．緊急時対応、Ⅴ．組織 / 体制に別れる 100 問近い評価項目（評価シート）に対し行いますが、前段 2 項目は利用者目線、後段 3 項目は組織運営への知見が必要で、まさに現役時代の経験が生きる評価項目といえます。

ハードを中心にみる事前調査と、評価シートに従った書類・ヒアリング中心の本審査の 2 段階で審査を行うのが特徴で、特に事前調査を通じて、書類だけでは見えない施設の特徴、良さを把握することで、利用者の立場に立った、さらなるステップアップへの提言が出来ていると自負しています。

詳しくは、当会ホームページをご覧ください。

JAMSTEC（国立研究開発法人 海洋研究開発機構）訪問記

公共支援 G 安藤 誠四郎



JAMSTEC の一般公開が 5 月 17 日（土）に行われ抽選で当選した 2 名で参加した。当日はあいにくの荒れた天候であったが、子供連れの参加者も多かった。追浜駅から 10 分ほどの場所から無料バスが運行された。横須賀本部は夏島町で海岸そばに位置しており、1971 年に「海洋科学技術センター」として発足し、2015 年に法人化され名称も変更された。

JAMSTEC の使命は海洋・地球に関する幅広い分野で世界をリードする研究を通じて、地球規模の課題の解決に貢献すること。地球環境理解、海洋資源の利用、地震・火山活動の調査・研究を統合的に推進すること。現在の職員は約 940 名で研究員 370 名、技術職 150 名、船員 46 名、他事務職等。海外からの研究員も参加している。

施設は本館の他、海洋科学技術館、深海総合研究棟、海洋工学実験場、高圧実験水槽等があり、岸壁には深海潜水調査支援母船「よこすか」、東北海洋生態系調査研究船「新青丸」が係留されていた。悪天候もあり、本館と有人潜水船・深海探査船のみを見学した。

パネル展示をいくつか見学し、説明を受けた。興味ある話題で印象に残ったテーマは、①北極砕氷研究船「みらい

Ⅱ」・温暖化が進むと地球で何が起ころ、温暖化に係る CO₂！ ②深海 6000 m のレアアース ③スーパーコンピュータ「地球シュミレーター」 ④カニかエビか！その判別、AI におまかせ！

「レアアース泥」は、深海探査船で太平洋プレート上のマンガン団塊や海底堆積物の調査

の一環として鳥島周辺（水深 6000 m）を調査し 2011 年に発見、2030 年までの商業化に向け技術実証を進行中。

注）「しんかい 6500」：直径 2 m のチタン製球体。水深 6500 m、人員 3 名が搭乗可能。震源海域でのプレート運動調査、新種の深海イカなど深海生物の多様性調査などの成果をあげている。

今回は JAMSTEC の概要を垣間見るができた。次の機会はテーマを絞った見学や研究者によるセミナーもお願いできれば、さらに関心と理解が深まり、研究への支援の輪が広がるのではなかろうか。



しんかい 6500

歴史散歩

そうだ、桑名行こう！

個人会員 立林 恭一

どこかで聞いたようなコピーだが、この辺りは行ったことがないのだ。サラリーマン時代に新幹線の車窓から幾度となく見た養老山地、名古屋を過ぎて連続する木曽川、長良川、揖斐川などの情景をこの目で極めたい。また桑名（西桑名駅）からは三岐鉄道といって日本に数少ないナローゲージ、線路幅がたった 76 センチ余りの特殊な鉄道が走っている。是非乗ってみたい（因みに新幹線や京急の線路幅は約 1.4 メートル）。

すぐに支度だ。愛車を衣替えすればベッドを備えた完璧な居室空間となる。家財道具に水やコンロ、そして血圧の薬まで一緒にして積み込めば、さあ出発！

「予もいずれの年よりか片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず」

「なんにも用事がないけれど、汽車に乗って大阪へ行って来ようと思う」「分け入っても分け入っても青い山」。西を目指せばすっかり松尾芭蕉か内田百閒か、そして種田山頭火になり切っている。私の中の放浪癖、フーテンの風来坊、遊牧民の血が騒ぐ。

時間はあってもお金はないのであって、ひたすら一般道を



自作の旅支度

進む。1 号線箱根峠で家内が作って呉れたおにぎりや昼食。幾つかの道の駅で休んでは、浜松の吉野家で唐揚げ定食並盛りの夕食。7 時に着いた道の駅「とよはし」を今夜の宿と決め、窓にカーテン、毛布と寝袋を整え 8 時には就寝。日が落ちればすることもなく寝るしかない。

さて長い夜が明け、また走り出す。名古屋を越え昼前に桑名に到着。さっそく件の鉄道に試乗、江ノ電（因みに線路幅は凡そ 1 メートルと 7 センチ）に輪を掛けたような揺れや車窓の緑、乗客の姿にこ



三岐鉄道の小さな電車

この地方色を堪能。少し贅沢をして大はまぐりうどんご膳などを頂き、道の駅「月見の里、南濃」を今宵の宿とする。

翌日は冒頭で触れた川に関する三川公園なるを訪ね、それぞれの源で雨の一滴で始まった小さな流れがやがて滔々と流れる大河となり、末に一つになって海に注ぐという大きなロマンを目の当たりにする。

その後、岐阜、長野、新潟を彷徨い、全 8 泊 1500 キロを走って無事帰宅。旅の余韻に浸かる、この先、徘徊老人は勘弁と祈りつつ・・・。

事務局からのお知らせ

次の通りお知らせします。

1. 2025 年 3 月 28 日 2024 年度第 3 回理事会を開催し、2024 年度活動実績・収支見通しの報告と 2025 年度予算案を審議し承認されました。
2. 2025 年 4 月 17 日 2025 年度第 1 回理事会を開催し、2024 年度事業・決算報告案の承認と 2025 年度監事改選案を審議・決定しました。
3. 2025 年 5 月 19 日 2025 年通常総会を開催し、2024 年度事業・決算報告の承認と 2025 年度事業計画案と予算案の承認、および監事改選案の承認を行いました。詳細は Web サイト「2025 年度通常総会報告」を参照してください。終了後、細やかながら交流会を行いました。
4. 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。
個人会員 赤羽 孝之 氏（2025 年 1 月）
法人会員 （有）湘南安全硝子会長 濱田 徹 理事（2025 年 4 月）

（事務局 佐々木 興吉）

羅針盤

2022 年 11 月 30 日 OpenAI によって Chat-GPT のプロトタイプが公開されました。その後 5 日間で、世界中で 100 万人のユーザーを獲得し、日本でも話題になったのはコロナパンデミックの影響下で行動制限を受ける中で、高速通信技術とコンピューターとの活用による情報処理に AI 技術を取り入れることでした。様々の分野で業務効率の向上や教育や社会的サービスの向上に有効であるとされ、企業の取組みでは IT と AI 技術活用一色となっている状況と思われます。行政ではいち早く横須賀市が、市民サービスの向上にこの活用を進めています。当会は、昭和の高度成長時代に特に「モノづくり」の世界で、最先端のハード技術や生産技術、生産管理技術を経験してき

たシニアエンジニア達が、その経験を「現場の匠」の技と合わせて伝承する活動を進め、中小企業の経営者と共に人材育成に取組んできました。しかし近年の情報化社会では、現場力の強化だけでなく、課題の多様化や情報処理の効率化を求めて、生成 AI（Chat-GPT、Copilot、Gemini など）の活用が進められています。さらに、情報検索はテキスト形式だけでなく、イラストや画像、動画形式で身近な携帯端末を活用し、利便性の改善が進められています。シニアのメンバーにとって新しい技術を学んでいくことは大変ですが、自分たちが経験してきたことを次の世代に伝えていくために、「今の時代に必要なこと」を精一杯学んでいくことが大切と考えています。（俊）

発行：特定非営利活動法人 産業クラスター研究会

〒239-0847 横須賀市光の丘 8 番 3 号 YRP ベンチャー棟 209 号

Tel & Fax : 046-847-6355 E-mail : y-cluster@cluster.jp

横浜事務所 〒236-0055 横浜市金沢区片吹 69 番 26 号

連絡先 : 046-847-6355

E-mail : y-cluster@cluster.jp

発行人：富野 養二郎



<https://www.cluster.jp>